

『バスケットボール事業開催における感染症対策ガイドライン』

当ガイドラインは感染リスクを軽減するものであり、感染する可能性がゼロではないということをご理解ください。誰もが感染する可能性を持っています。

※ 本大会主催者および主管(以下「主催者」という)

【大会開催前】

1. 本ガイドライン適用に当たり、各チームで感染対策責任者(2名)を必ず置くものとする。
2. 各チームの感染対策責任者は、大会の参加に当たり、当ガイドラインを熟知した上で、**チーム内への周知と感染対策を十分に行うこと。**
3. 本大会に参加可能かどうかは、各チームの責任において判断し、主催者へ報告すること。
なお、**匿名および個別の問い合わせや要求に関して主催者に対応しない。チーム責任者を通じての問い合わせのみ対応する。(この件に関しては特にチーム内での周知徹底を行うこと。)**
4. 各チームの感染対策責任者は、当日入館する全員(選手、指導者、保護者等)の直近2週間の動向(感染拡大地域への往来、海外渡航の有無等)を主催者等より要請があった際は必ず情報提供すること。
5. 大会に参加するチームは、当日朝自宅にて検温を実施してから会場へ向かうこととし、事務局で用意した名簿(申込書様式)へ測定した体温を必ず記入のうえ受付へ提出すること。また、各チームの感染対策責任者は大会前日までの**2週間分の体温を記入したスポ少事務局様式による「健康チェックシート」を当日入館する全員分を必ず受付へ提出**すること。また、本大会の感染対策責任者は提出されたチェックシートを適切に1か月間、管理・保管し、公的機関(保健所等)より開示を求められた場合は、速やかに提出するものとする。(※スポ少事務局様式の体温チェックは開催前日までの体温を記入、当日の体温チェックは出発前に体温測定を行い事務局よりチーム毎に配布された様式(申込書)に記入のうえチェックイン時に提出すること。)なお、開催日を基準として10日以内に**明らかな発熱症状および風邪のような症状(咳、咽頭痛、倦怠感、鼻閉塞、大量の鼻汁など)を訴える選手及び保護者が発生した場合、そのチームの参加を認めない場合がある。この場合にあっては、開催日を基準に1週間前の抗原検査(可能であればPCR検査が望ましい)で陰性を確認出来た場合は参加可能とし、開催日を基準として1週間前以降に上記の症状が発生した場合はチーム自体の参加を自粛すること。但し、あきらかな花粉症、ハウスダストなどのアレルギー一症状は除く。**
6. 大会当日受付にて、会場入館時に**体温測定およびチェックシートの提出ができない方、動向の情報提供ができない方は入館禁止とする。また、付添の保護者は各チームベンチ登録選手1名に対し2名までとし、場合によってはチームに対して入館人数を制限する場合がある。(体育館への収容人数は当面の間150名を目安とする)**

7. チームの会場入りについて会場内外での密を避けるために、原則試合開始1時間前とする。
8. **当日入館する全員が必ずマスクを着用すること。（特別な事情がある場合を除き入館者の絶対的義務とする）**
9. 昼食は食堂で指定時間にて済ませること。その他の場所における飲食は一切禁止とする（熱中症予防の為、水分補給については可とする）。なお、**食品衛生の観点から、仕出し店等、これに準ずる業者からの食品調達は禁止とする。**（特に夏季は気温の上昇により食中毒のリスクが上昇することから、補食を含め食品の取り扱いには十分に注意すること。）

【ゲームについて】

10. **試合の前後は必ず手洗いおよび手指消毒をすること。**
11. **ゲーム開始前にはできる限りマスクの着用をすること。**
12. 試合中、**試合に出ている選手以外はスタッフも含めマスク着用のこと**（クォータータイム・タイムアウト時も同様とする）。ハーフタイムでは、できる限り試合に出ている選手もマスク着用をすること。**また、ゲームに出場していた選手がベンチに下がった際は、呼吸が整い次第マスクを着用すること。**
13. チームスタッフがT0及び審判へ話しかける場合は、**マスクの着用を厳守すること。ベンチから指示を出す際も同様、マスクは外さないこと。**
14. **T0担当チームはマスクの着用を厳守すること。**またT0（モップ係含む）は9名以内、後ろに付くスタッフは3名以内とする。
15. アップの際、晴天時は屋外でのアップを推奨する。雨天時は廊下でのアップを基本とするが、ボールをついてのアップは行わないこと。
16. 観客とベンチ控え選手の応援については、マスク着用での応援を可とする。但し、状況に応じて拍手での応援とする場合がある。
17. 各チームの感染対策責任者は、**ゲーム開始前とゲーム終了後に使用したベンチと観客席の消毒を行うこと。（消毒液などは各チームで準備すること）**
18. T0担当チームの感染対策責任者は、ゲーム開始前、クォーターごとおよびゲーム終了後にボール、T0席の消毒を行うこと。またできるだけ筆記用具は各チームで用意してください。（T0席には大会事務局にて消毒用品を用意する。）
19. 試合コートの入退場口でチーム同士が交わらないよう、**試合終了直前まで控室で待機のうえ、代表者が試合終了を確認し、代表者の指示により別途主催者が指定するルートにて入退場すること。**T0担当チームはT0席、T0機器及びベンチの消毒終了後に次の担当チームがコートへ入ること。

20. **試合前後の挨拶は全体で行わず代表者のみで簡易的なものとする。また、体育館入退場の際は手指消毒を行うこと（入口ホールに消毒液を設置する）**

【ゲーム終了後】

21. チームは、試合終了後できる限り必要以上にとどまらず、すぐに控室へ向かうこと。
22. 体育館ロビーや喫煙所等で密にならないよう注意すること。特に**体育館入口付近で立ち止まり通路を塞ぐ行為は「密」発生最大の原因となるため厳禁とする。**

【大会終了後】

23. 各チームの感染対策責任者は、大会参加日から7日以内に感染が確認された場合、主催者へ速やかに報告すること。（※1）主催者において必要と判断した場合は秋田県バスケットボール協会へ報告する。（※1：大会にて感染が広まったと主催者が推測した場合等を指す）
24. 参加チームから新型コロナウイルス感染確認の連絡を受けた場合には、保健所等の指示に従い必要に応じて濃厚接触者の把握及び行動履歴の確認等、積極的にできる限り正確な情報提供を行い新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限努める。

【終わりに】

25. 厚生労働省推奨の新型コロナウイルス感染症確認アプリ(COCOA)を各チーム関係者(観戦者含む)、選手がスマートフォンにインストールし、感染確認、拡大防止に利用することをお勧めする。

※ 本ガイドラインは秋田県バスケットボール協会のガイドラインを元に本大会用に作成したものです。今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、順次改定することがあります。

※ 熱中症にも十分考慮して大会を進めますが各チームにて**熱中症対策用品（OS-1、塩タブレット等）の用意にもご協力下さい。**

主 催 東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会
会場施設 秋田県立田沢湖スポーツセンター